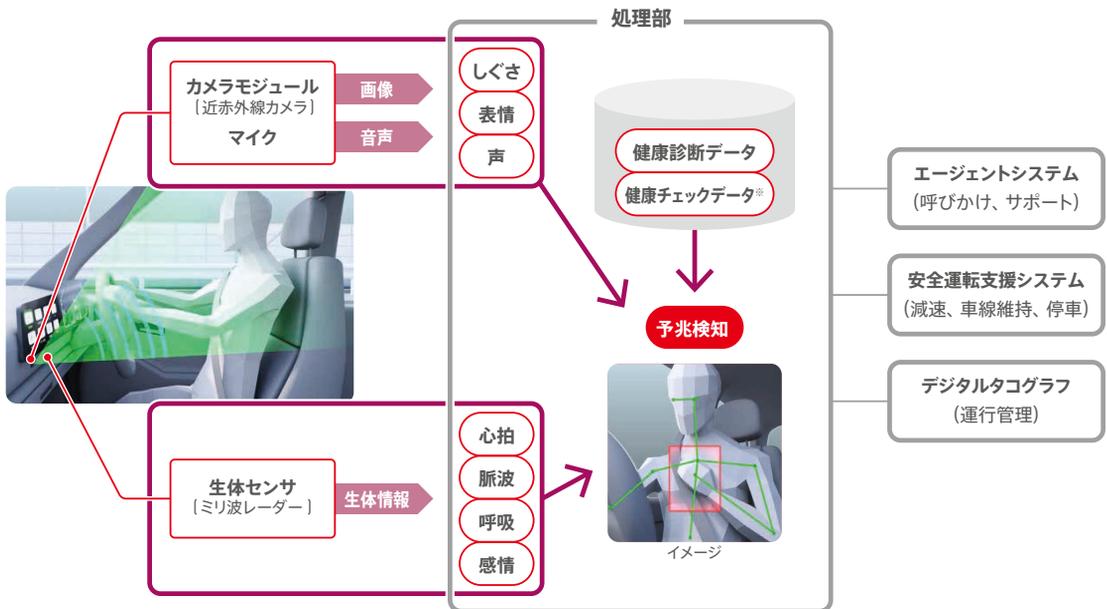


ドライバーのしぐさや生体情報から、体調急変につながる予兆（意識消失に至る前段階）を検知し、安全運転支援システムと連携して、事故を未然に防ぐ

- 近年、交通事故は減少しているが、健康に起因する事故は増加傾向にある
- 特に重大事故につながる体調急変による事故を減らしたい

- 生体情報（心拍、脈波、呼吸など）に加えて、ドライバーのしぐさや表情をカメラで捉え、高精度に体調急変の予兆を検知する
- 定期健康診断の結果や健康チェックデータ※と連携し、運転者の状態にあわせた検知と判断を行う



※ 健康チェックデータとは、ウェアラブルデバイス等により取得したヘルスケアデータや、運送事業者が運行前に行う健康状態を確認する点呼データ